サフラン便り

第３２号　２０年4月１５日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931
FAX:0952-23-8941
http://www8.ocn.ne.jp/~saffron/

「女性薬剤師の５０年史を検証する」　座談会報告

日　時：平成２０年３月１６日（日）　午後1時より
出席者：宮地信子、坂本壽子、園部節子、北島悦子、杉岡祐子、田中須磨代、
徳渕昭代、山口弥生、島田智子、宮地和子

● **調査研究をしてからの感想**

（山口弥生）北先生のインタビューをして、戦時中、リヤカーでの仕入れ等、当時の薬局の様子を湧き出るように話された。学校薬剤師になり、我が子も含めて地域の子供たちを見守りながら、近所の協力のもと安心して仕事ができたと言われ、当時の女性薬剤師の姿を伺うことができた。
（島田智子）両親共に薬剤師であり、父は薬剤師会の仕事が多く薬局業務を支えていた母は本当に大変だったと思っていた。しかしインタビューをしてみて父もそれなりに苦労したことがわかり感謝した。
（徳渕昭代）給与の差はなかったのは、現在と同じである。
当時は薬剤師は 17 名しかいなかった。
女性薬剤師も経営を考えて努力をしなければならないと思う。

（田中須磨代）出産後の母性愛は男性にはわからない部分であり、
育児中は早く帰宅せざるを得ない。そこに男性と同じ給料をもらうのに気がひける思いをしている。
そこも支援が必要と思う。

（北島悦子）振り返ることは今後の道しるべとなる。田中先生の言葉をきいて井手先生もだが若い人がこういうことを思いながら M 字カーブを乗り越えて「切り開いてきたんだなあー」と思った。薬剤師は企業家でもあった。
（園部節子）以前の女性薬剤師部会とは変化を感じる。今までなかったキッズルーム開設や通信講座など。これから他にも支援すべきことがでてくるかもしれません。
（宮地信子）以前はなかなか女性が外に出にくい時代で声かけを遠慮していた。
今はみな協力し合ってよくやっていると思う。

（坂本壽子）仕事は NO.2 で子育てが No1 でした。昔は今と違って張り紙をして薬局から一時的に離れられた。子育て 3 年間はしっかりすること。呼んでいただいて感謝。
（杉岡祐子）昔も今も女性薬剤師の仕事振り、活動に感動しました。
（宮地和子）ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ通信講座を通して、女性薬剤師にも医師やﾒｰｶｰとの交流が広がった。これからはもっと女性薬剤師間の地域を越えて親睦の必要性を感じている。移動セミナーをチャンスと捉えたい。

（詳しくは、女性薬剤師の 50 年史の中で、掲載したいと思っています。）

今日は、代診の若いドクターに診てもらった。いくつになっても初対面の方と会うとなるとドキドキするものです。診察室から漏れ聞こえる丁寧な説明と高齢者の笑い声に、第三者の立場でみて、私は薬局窓口でどう対応しているかしらと反省しきり。清潔な笑顔のドクターに接し、見た目も必要かな?と思った。
今、薬局の前を新一年生が私に手を振りながら帰っています。
よし！あした頬紅を買いに行こう。（島田）

＜第６回日本女性薬剤師会　移動セミナー＞情報！！

9月１４日（日）開催
於：アバンセ

特別講演　講師鎌谷直之先生のご紹介

生年月日：昭和 23 年(1948)5 月 22 日
（現所属）東京女子医大膠原病リウマチ痛風センター所長
東京女子医大大学院先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野教授
理化学研究所横浜研究所遺伝子多型研究センター、医学情報解析グループディレクター
（学歴）　昭和 42 年　　福岡県立田川高校卒業
昭和 48 年　東京大学医学部医学科卒業
（職歴）昭和 54 年 4 月　　米国カリフォルニア州スクリプス研究所
昭和 60 年 1 月　　東京女子医科大学リウマチ痛風センター助教授
平成元年 4 月　　米国ミシガン大学内科客員教授兼任
平成 10 年 5 月　　東京女子医大膠原病リウマチ痛風センター所長
平成 13 年 4 月　　東京女子医大大学院先端生命医科学系専攻

（専門領域）　遺伝学、統計学、リウマチ学
㈜･遺伝統計学入門
　ゲノム解析の完了をうけ，遺伝現象の統計解析がますます重要となっている．病気や体質の背後にある遺伝的要因をどのように見つけ出すのか．具体例をもとにその手法を紹介する．必要となる統計学，生物学の基礎知識や，遺伝継承法則の平易な解説から説き起こし，この分野で必要な考え方と手法の基礎を身につけられる待望の 1 冊．
・名医の図解通風を治す生活読本・画像で診る膠原病リウマチ性疾患・尿酸値が高い人が読む本　他

基調講演　講師佐藤英俊先生のご紹介

昭和 27 年　　北海道旭川市生まれ
昭和 57 年　　クレイトン大学（米国ネブラスカ州オマハ）物理学科、医学部卒業
平成 9 年　　ホスピス開設準備のため佐賀県立病院好生館麻酔科へ赴任米国・英国へホスピス研修留学
平成 10 年　　佐賀県立病院好生館緩和ケア病棟医長
平成 17 年　　国立大学法人佐賀大学医学部付属病院地域包括緩和ケア科　助教授（科長）
平成 19 年　　同　診療教授（科長）産業医科大学非常勤講師、大分大学医学部看護学科非常勤講師
（所属学会）
日本慢性疼痛学会・理事、日本死の臨床研究会・世話人、日本緩和医療学会、日本東洋医学会、日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本医学教育学会、日本疼痛学会、日本医史学会

【男女共同参画事業】
日本女性薬剤師会２００８年度学術講演会　案内

日　時：平成２０年6月２２日（日）
場　所：星薬科大学メインホール　東京都品川区荏原２－４－４１
主　催：日本女性薬剤師会
テーマ：“一緒に考えよう！最新のアンチエイジング”
―美しさを保つための栄養・肥満の臨床研究報告
参加者募集：ご希望の方は、事務局までご連絡ください。（0952-23-8931　高岸まで）

＜これからの女性薬剤師交流会のアイデア募集＞
情報交換できる場所作りとして　研修勉強会のみならず、
コーラス、エアロビクス等楽しめるものまた教えてくださる方を募集しています。
各支部理事までご連絡ください。